

平成 17 年 2 月

政 策 経 営 部

区民からの意見・提案に対する区の考え方

平成 16 年 9 月 28 日から 10 月 30 日までの間、世田谷区基本計画（素案）について意見・提案を募集した結果、426 人から約 1,000 件の提案等が寄せられました。

提出方法	人数
提案ハガキ	196 名
シンポジウム質問票・ アンケート	98 名
手紙・FAX・電話・ E-mail	29 名
区政モニター	103 名
合計	426 名

いただいた提案等について、提案の趣旨ごとに、基本計画（案）等への反映状況や区の考え方などを記載しました。

基本計画全般（39件）

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
1	区取り組みと区民の望むことがかけ離れない様に、説明会や会議などを数多く開催し、この基本計画を進行してほしい。また、年代を問わず区民の参加が重要であるが、いかがか。	17件	基本計画の策定過程から、タウンミーティングやシンポジウムの開催などを通じて、区民の皆さんの参加を得るよう努めてきました。今後も、できる限り区民の皆さんへの説明の場を設けるとともに、リーディングプロジェクトの推進をはじめ、区民の皆さんとの協働して基本計画の実現に取り組んでまいります。
2	基本計画の文章中、カタカナ文字や難解な言葉が多く大勢の区民が理解出来ないのではないか。	12件	ご意見を踏まえ、カタカナ語や難解な言葉をできるだけ避け、必要に応じて用語解説をつけ対応します。
3	区民の意識を今回の基本計画に向けることが重要であり、このような計画があることを知らない区民もたくさんいると思う。区としてどのように周知するのか。	6件	基本計画を区民の方にご理解していただくことが非常に重要であると認識しており、区のおしらせ特集号による周知や概要版の作成・配布によるPRなどに取り組んでまいります。
4	「リーディングプロジェクト」、主要テーマでは、あれもこれもと詰めこみすぎではないか。確かにどれも大切だが、もっと優先順位をつけてもいいのではないか。	3件	昨今の様々な社会状況の変化や財政状況などを踏まえ、今回の基本計画は、従来の総合的な計画に比べて、今後10年間で区が重点的に取り組むべき課題と、その解決に向けた施策の方向性を明らかにするものとししました。
5	今回の基本計画の作成に区議会議員が参加していないのはなぜか。	1件	基本計画は、区議会議員も委員として参加した「世田谷区基本計画審議会」の平成15年度の「答申」を踏まえ、策定しております。また、「素案」については区議会へ報告し、様々な検討や議論がなされています。

第1章 計画の意義(25件)

第2節 計画の意義

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
6	計画は、ただ理想を追うのではなく、これを実行していこうという意識と具体的な取り組みが重要である。	17件	今回、目標達成に向けて、「重点的取り組み - リーディングプロジェクト - 」や実施計画事業に成果指標を設定しました。これにより、取り組みの進捗の管理を徹底し、区民にわかりやすく公表していきます。
7	10年間の長期計画ということであるが、日本経済自体や技術革新などが驚くべき速さで進展している中で、妥当なのか。	4件	10年間の計画としていますが、世田谷区を取り巻く社会経済情勢が大きく変化したときには、必要な調整を図っていきます。
8	今回の基本計画と基本構想との関係はどのようになっているのか。	2件	平成6年9月制定の基本構想の理念のもと、この間の社会状況の変化も踏まえながら、新たな時代にふさわしい区政運営の指針として、基本計画を策定しています。
9	項目設定を分野別から目的別に変えているが、なぜか。	2件	区民の立場にたって、課題別に分かりやすくし、活動や取り組みの目的を示す計画としました。

第2章 計画の考え方(35件)

第1節 基本的考え方

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
10	10年間の基本計画の最重要テーマは公共に対する住民の意識を育てることではないか。行政、住民がともに、どのような「街づくり」をするのか、思いきった意識改革をしないと、成果は得られないのではないかと。	20件	世田谷区は、これまでも、区民参加によるまちづくりを進めてきましたが、社会変化に伴い、増大し、多様化する地域の課題を解決するには、地域コミュニティの一層の強化と区民の主体的な活動が不可欠であると考え、今回の基本計画での基本的な考え方に、あらためて「区民主体のまちづくり」を明記しました。
11	区役所にお任せ型のまちづくりでなく、区民を主役に、区がそれを補助誘導するような姿勢で区と区民の活力を引き出し活性化をはかるべきかと考えるが、いかがか。	4件	ご提案を踏まえ、基本計画で、区民の自主性を尊重したコミュニティづくりの積極的な支援を進めることを明記するとともに、平成17年4月スタートのまちづくり出張所をはじめ、様々な支援に取り組んでいきます。
12	「官」「民」の役割を明確にし、区民のまちづくりへの多様な参画意欲と誇りとを高めるためにも、現在の区民活動を計画書の中で評価し、期待することを明記することが必要と考える。	4件	区はこれまでも、「協働」を基本的な考え方とし、区政運営を行ってきました。今後も活力ある地域社会の実現に向けて、区民・事業者等との連携・協働を一層発展させていくことを明記するとともに、計画の実施にあたっては、協働を基調とした取り組みを進めていきます。
13	行政システムの改革、税金の運用方針についての計画を明示することが行政責任であり、本計画書にも明記すべきである。	4件	これからの行政は、サービスの目的や対象、提供主体や事業手法などを、適切に選択するサービス提供の仕組みの確立と効率的な行政運営が必要と考えており、計画書に明記しました。
14	行政で行っている事業のうち、民間で出来る事業を、公募等の方法により民間活用をより進めることが重要だと思う。	3件	民間の活用も含め、限りある資源の中で、質の高いサービスを提供することを明記しました。

第3章 目指すべき将来目標（85件）

第1節 将来目標

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
15	世田谷の夢を持たせるような未来像をはっきり提示してほしい。	57件	将来目標として『いつまでも住み続けたい「魅力あふれる安全・安心のまち世田谷」』を掲げました。
16	区の発展には、ハード系やソフト系のどちらかに片寄ることなく、バランスよく行っていく必要があるのではないか。	13件	『いつまでも住み続けたい「魅力あふれる安全・安心のまち世田谷」』の実現に向けて、「安全で安心なまち」など5つの将来目標を提案しています。また、これらの目標達成に向けて、ハード面、ソフト面を横断的に捉え、具体的な施策の展開を進めてまいります。
17	安全、安心した生活のできるまちづくりが、区民として最も望むところであり、安全を念頭において区が発展すべきである。	9件	計画に反映されています。区では、安全・安心な地域社会の実現が強く求められていると考えており、将来目標に「安全で安心なまち」を掲げるとともに、区民の皆さんと協働で実現してまいりたいと考えております。
18	21世紀は世界にとって地球温暖化問題など地球環境が大きな課題である。世田谷区は是非、日本、世界の環境先進立区として取り組んで下さい。世田谷の環境を守り、育てていくよう10年間の基本計画の立案をすべきである。	3件	計画に反映されています。地球規模での環境問題について、区民一人ひとりが認識を持ち、身近な地域からの取り組みを進めるという視点に立って、将来目標の「健康でやすらぎのあるまち」やリーディングプロジェクトに環境問題を位置づけてあります。
19	昔から世田谷区で育った人たちが、世田谷区の良さを知らないことが残念だ。世田谷区の良さをアピールしながら、さらにもっと良くするための取り組みが必要である。	2件	世田谷区内の文化資源が、生活の質や地域の活力の向上につながるまちを目指し、将来目標に「世田谷の文化を育み、未来が輝くまち」として位置づけるなど、世田谷の魅力を再認識、再発見し、さらに高めていく取り組みを進めていきます。
20	他自治体からも高齢者対策が認められるような街づくりが重要でないか。	1件	世田谷区では、高齢者がいつまでも生きがいを持ち、生涯現役でいてほしいと考え、将来目標

			「健康でやすらぎのあるまち」及びリーディングプロジェクト「いつまでも生きがいを 生涯現役プロジェクト」で高齢者施策を位置づけました。
--	--	--	--

第4章 主要テーマの展開 (591件)

地域社会の安全の確保

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
21	犯罪が増えてきている状況の中で住民は安心感を得られない。地域やとなり近所の人達とコミュニケーションを密にすること、積極的に住民を活用することを、区が検討されることを望む。	23件	計画に反映しています。区としても、地域の防犯リーダーの養成など、区民の皆様と一緒に安全なまちの実現を目指します。
22	住民・区・警察との連携を一層強化し、一体となって安全を確保するようにしてほしい。	15件	計画に反映しています。警察をはじめ、関係機関との連携を今後さらに図っていきます。
23	最近、地域の安全性が損なわれていると感じる。防犯カメラの設置など、ハード、ソフト両面から世田谷区を日本一安全なまちにしてほしい。	12件	平成14年に侵入窃盗の発生件数が都内最多となってしまいました。このことを重く受け止め、基本計画でも地域社会の安全の確保を明記し、区民、事業者、行政との連携により犯罪や事故のない安全なまちを目指すとともに、防犯の視点からのまちづくりを進めています。
24	安全、安心は防犯だけでなく、建物の不燃化や危険建物の改修、道路や公園による空間の確保により都市の不燃化を進め、防災に強い街づくりを行う必要がある。	8件	計画に反映しています。建物の不燃化や耐震診断など、災害に強いまちづくりを進めます。
25	世田谷区内は、道路が狭く入りくんでいて、安心してまちを歩けない実態にある。少しでも改善をはかっていくことが必要である。	6件	木造住宅密集地域の改善や地先道路の整備などを進め、狭あい道路を解消し、緊急車両などの進入路を確保します。
26	小さい子がいてももっと安心して過ごせるようにしてほしい。	5件	防犯の視点からまちづくりを進めるとともに保護者と子どもを対象に、犯罪や事故に対する対応能力の向上を図るなど、子どもの安全の視点に立った取り組みも進めていきます。
27	災害時の避難所と地域の係が、構想は出来あがっているが話し合いが遅れており、実質的な体制がとれてなく、災害時が心配である。	2件	計画に反映しています。災害時の被害を想定したハザードマップの作成や地区の防災リーダーの養成などにより、地区の実情に即した自主防災力を強化します。
28	都市型水害対策の視点が欠けている。	1件	計画に反映しています。洪水による被害を想定したハザードマップを活用しての意識の向上

			や、下水道改善など東京都と連携を図りながら、水害のない街づくりを進めます。
--	--	--	---------------------------------------

安全に移動できる都市基盤と区民生活を支える公共交通の整備

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
29	区内には東西に走る私鉄3本が都心に向けて走っているが、区内の南北の移動や公共施設間の移動が大変に不便である。その解消に向けて、バス路線の拡充や鉄道の計画を望む。	37件	計画に反映しています。今後、バス路線の充実など、多様な交通手段を組み合わせた総合交通体系の確立を図り、不便な南北移動の改善に努めてまいります。
30	バイクが歩道を走行したり、携帯電話でメールをしながらの自転車走行、歩きタバコ等、マナーの低下が増えています。ルールやマナーを守る環境を整えてほしい。	30件	区は、平成16年4月に「世田谷区ポイ捨て防止等に関する条例」を改正し、歩きタバコをやめることを努力義務として規定するとともに、路上禁煙地区を指定できるようにし、10月には、太子堂一、二丁目の一部地区を指定するなどの取り組みを進めています。今後、自転車利用のマナーなどの向上にも取り組んでいきます。
31	駅周辺の放置自転車、放置バイクが完全にないまちづくりを。安全、美観の点からも最重要課題である。	25件	計画に反映しています。放置自転車、バイクは、安全に歩くための障害となりますので、今まで以上に放置を減らす取り組みを進めます。
32	有名な世田谷の迷路・狭い道路の拡幅の改善工事は必要であるが、住宅地の中に車を入れないように道路を整備するなど、今までの良い環境であった住宅街を守る視点も必要である。	24件	ご提案の考え方を踏まえ、道路交通ネットワークを構築することより、通過車両の住宅街への進入を防ぐとともに、国分寺崖線をはじめとした世田谷区内の自然的環境を守るなど、環境に配慮したまちづくりを推進します。
33	歩道の設置や歩道の段差解消など安全に通行できるようにしてもらいたい。	16件	計画に反映しています。誰もが安全に歩け、移動しやすくするために、歩道の段差解消を進めます。
34	世田谷の道路は狭いので、まずは電線の地中化を進めることにより、歩道の安全性やまちの美観とも高めてはどうか。	15件	計画に反映しています。安全で快適な歩行空間の確保のため、電線類の地中化を推進します。
35	道路事情が違法駐車により、より悪化している。	5件	今後、警察など関係機関と連携を取りながら、

	路上駐車している車を徹底的になくす必要がある。 である。		対策を検討していきます。
36	高齢者社会を迎えるにあたって、駅の改札や店舗の段差など「バリアフリー」を意識した取り組みを行う必要があるのではないか。	5件	計画に反映しています。バリアフリーの取り組みはもちろん、区としては、今後ユニバーサルデザインの視点から、安全で快適に移動できるまちを目指します。
37	自転車利用をさらに促進してほしい。	3件	計画に反映しています。環境への負荷や何より世田谷区のようなまちでの移動には自転車が便利であるとの認識から、区としても自転車利用をさらに促進します。
38	人口増にもかかわらず交通機関がそのままで混雑がひどくなっている。関係機関と連携し、混雑を緩和する環境をつくってほしい。	2件	区内を走る鉄道の連続立体事業を促進するなど、鉄道会社をはじめ、関係機関との連携を図ります。
39	だれもが移動しやすいまちとして高齢者、障害者に対し、安価で手軽な移動インフラの拡充が必要ではないか。	2件	1人では移動が困難な高齢者や障害者の移送ニーズに応えるための総合的な移送サービスを、NPO、事業者などと連携しながら、検討し、展開します。

区民生活の安心の実現

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
40	「施設から在宅へ」は現実では難しい。高齢者施設は不足しており、もっと整備する必要があるのではないか。	6件	世田谷区では、住みなれた地域で生活することを基本的な考えとして、高齢者に関する各施策を展開しています。地域でのサービスを支援するための多機能なサービス拠点やグループホームなどの整備をとおり、地域密着型のサービスを展開していきます。
41	今後、高齢社会を向かえるにあたり、高齢者介護やバリアフリーは重要な視点になる。計画でももっと触れていいのではないか。	4件	計画に反映しています。地域での自立した生活の実現のために、虐待の防止や見守りネットワークの形成などさまざまな取り組みを行います。
42	世田谷は障害者問題の取り組みが進んでいるというのがその関係者間の評価であるが、今回の	3件	ご意見を踏まえ、日中活動の場の確保や就労の場の整備など障害者の社会参加を促進し、地域

	計画で障害者施策が足りないのではないか。		で自立して生活ができるよう支援することを記載しました。
43	おれおれ詐欺や、不正請求等の防止が必要である。	1件	計画に反映されています。消費者が、自らの価値観に基づき、的確に判断できるような取り組みを実施します。

にぎわいのあるまちづくり

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
44	特色があり、高齢者も安心して買物ができる魅力ある商店街をスーパーマーケットや地域の人々と一緒につくり、活性化を図ったらどうか。	11件	区では、大型店の商店街への加入を促進するため産業振興基本条例の改正などを行い、商店街の活性化に力をいれています。今後、まちづくり部門との連携による商店街の連続性の確保や商店のバリアフリーなど福祉の視点、さらには観光の視点なども踏まえ、商店街の振興を図ります。
45	二子玉川東地区を再開発する理由は何か？	3件	基本計画では、二子玉川地区をにぎわいの拠点として位置づけています。商業や業務機能、文化、交流機能の集積地として整備を進め、地域のにぎわいの創出を目指します。
46	演劇のまちとして下北沢を良くするために、区民、行政の責務を明確にし、積極的な取り組みを提案すべきである。	2件	今回の基本計画において、下北沢もにぎわいの拠点として位置づけています。今後、区民、事業者、行政との協働により、にぎわいのある都市空間として形成していきます。

世田谷だからできる魅力ある産業の振興

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
47	若い人たちが安心して働ける環境づくりを進めてもらいたい。	3件	計画に反映しています。若年層が働くことへの関心や意欲を持てるよう、職業や仕事を実際に体験する取り組みを実施します。
48	区内農産物のブランド化を推進し、住民が購入できるように広く知らせる手段を構築してほしい。	3件	計画に反映しています。付加価値の高い農産物を生産し、都市農業の振興を図ります。

49	農や土と親しみたくても、区民農園の倍率が高く、転用により廃園となることも多い。農地が農地として残るように、考えてほしい。また、公園や学校に畑や田を作り、区民や子どもたちが作物の栽培を体験できるようにしてほしい。	3件	本格的な農業体験を希望する区民を農地の保全につなげるなど、区独自の取り組みにより、区民とともに農地の保全を図ります。
50	区の資源を活用し、世田谷らしいビジネスモデルの構築はできないか。	1件	計画に反映しています。世田谷区には、大学や活発な地域活動など、新たなビジネスモデルを創造する土壌があります。今後、これらを活用し、ビジネスモデルを構築する支援を行います。

水と緑が豊かで美しいまちなみのある世田谷づくり

No.	意見の概要	件数	考え方
51	世田谷は都内でありながら緑が豊かで大変住みやすいと思います。今後も、緑を守るだけでなく、まちぐるみで緑を増やして行ってほしい。	32件	区では、区民参加による公園づくりなど、区民とともにみどりを守り、創出する取り組みをおこなってきました。今後も、保存樹木や樹林地等の保全など、区民とともに緑化事業に取り組み、みどりを維持・創出していきます。
52	最近の高層マンションやミニ開発は、景観や周辺の住環境を悪化させている。早急な対策を望む。	26件	区では、住環境の維持を図るため、絶対高さや最低敷地規模面積を導入しています。今後、さらに周辺地域に与える影響に配慮しながら、地域の意見を反映し、開発が進められるよう誘導するなど、対策に取り組みます。
53	公園や緑道等の近くに住む区民に管理を委託することや、ボランティアが協力しやすい仕組みなど、地域住民が参加できるようにしてほしい。	13件	計画に反映しています。区民参加による緑化事業や公園づくり、自主的な管理など、身近なみどりを実感できる事業を展開します。
54	国分寺崖線をはじめとし、自然がどんどん破壊されているのを世田谷区として真剣に取り組んでほしい。	8件	みどり豊かな世田谷を実現するため、みどりの重点地区である「国分寺崖線」については、建築に係る制限などを柱とする条例の制定、また区の貴重な保存樹林地や水辺地などの自然的環境を保全するための新たな取り組みを実施します。

55	世田谷区は高級住宅地の環境と美観があり、歴史と地形を尊重し地区計画などをたて鎌倉の谷戸に負けない美観にしたい。古い集落と新しい市街地の良い関係が大切である。	7件	計画に反映しています。世田谷らしさを示す風景を区民と共有できるようにし、その保全・創出を図ります。
56	世田谷は緑とともに水資源もあるところであり、住民が親しみやすいようにしてほしい。	3件	区民が自然環境を学習・体験する場を整備します。
57	公園が少ないので、増設を。	2件	地域の実情や財政状況を踏まえ、対応するとともに、今ある地域の緑資源を相互に結ぶネットワークの構築などを進めていきます。

快適な環境で持続可能な地域社会の実現

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
58	リサイクル、ごみ減量化はますます重要であり、ごみ問題を積極的に取り上げるべきである。	17件	資源の集団回収や有効活用など、区民、事業者、行政それぞれがごみ問題に対し、積極的な取り組みを行うことを計画に位置づけ、ごみの減量やリサイクルへの取り組みを進めていきます。
59	騒音や排気ガスなどに対する問題意識や対策も必要ではないか。	7件	騒音問題や排気ガス規制については、国や東京都など関係機関と連携しながら取り組んでいきます。また、道路の整備にも力を入れ、これらの大きな原因となっている交通渋滞の解消を図ってまいります。
60	ヒートアイランド対策やCO2対策、エコライフ活動など環境問題に真剣に取り組む必要がある。	5件	計画に反映しています。環境負荷の低減のため、区民、事業者、行政が一体となって取り組む目標を設定し、エコライフ（環境にやさしい暮らし）を実践します。
61	環境問題に関し、ごみ拾いなど身近な活動をとおり、区民への動機づけが必要ではないか。	5件	エコライフへの参加や区民、事業者主体の資源回収の仕組みづくりなど、区民に身近な活動を進めます。
62	カラス対策をするべきで。	2件	区では、ごみ散乱防止ネットの助成などのごみ対策や、カラスの営巣対策のPR等を行い、カラス対策に取り組んでいます。今後とも、対策に力を入れ、実施してまいります。

63	積極的なリデュースや、不燃物を使用しないようメーカー・流通小売業へ働きかけをしてほしい。	1件	計画に反映しています。事業者が自主的にリースやレンタル事業に取り組むよう働きかけるなど、事業者によるごみの発生、排出抑制の促進を図ります。
----	--	----	---

健康づくり・疾病予防の推進

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
64	今後、高齢社会が益々進む中で、総合相談など医療・保健・福祉が連携した総合的な取り組みが必要である。	4件	区では、これまでも、医療、保健、福祉が連携し、高齢者や障害者、子どもなど対象者別に総合的に取り組みを行ってきました。今後は、医療、保健、福祉はもとより、住まいや交通など他の分野との連携も含め、今まで以上に総合的な取り組みを行います。
65	高齢化が進む中、高齢者に対する食事、食習慣、運動を通して元気で過ごせる生活を実現するための取り組みをしてほしい。	4件	計画に反映しています。商店街からの食情報の発信や食の安全・安心区民会議の設置など誰もが健康に過ごせるよう食を通じた健康づくりを行います。
66	健康診断やその結果による対処法を相談出来る窓口を設置し、疾病予防に役立たせる必要があるのではないか。	4件	区は、基本検診のデータベース化をし、区民自らが行う健康づくりに役立つ取り組みを推進するとともに、健康づくりを支援する人材の育成、事業者との連携をとおり、健康相談や健康指導を充実させます。
67	世田谷区内の病院に関するきめ細やかな情報を区が率先して提供してほしい。	4件	医療に関する情報は、医師会のご協力のもと、場所や診療時間、診療科などを公開しています。さらに分かりやすくするなど、区民の皆様が利用しやすくなるよう検討させていただきます。
68	健康は、人として生きるための基本であるので、きちんとした対策をとるべきと考える。活動の支援や情報提供だけでなく、区として行うことを明確に示してほしい。	3件	健康づくりに関する基本条例の制定に向けた取り組みを進め、区民の健康づくりに総合的に取り組みます。
69	予防を目的として介護サービスを利用させてほ	1件	計画に反映しています。要介護度の軽減を目指

	しい。		し、高齢者の筋力向上を図るトレーニング事業や介護予防教室、低栄養対策を実施します。
--	-----	--	---

次代を担う人づくり

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
70	「街づくりは人づくり」と考えるが、その根底にあるのは教育であり、教育そのものの充実を図るべきだ。	10件	区も人づくりの原点は教育であると考え、地域に根差した子どもの育成を第一に据えてまいりました。地域に根ざし、開かれた学校づくりを進め、子どもたちが地域社会の一員として、郷土を愛する心を持って成長できるよう、教育の充実を図ります。
71	地域の人々（産業・職種別経験者・知識人・文化人・学生・高齢者など）が小・中学校での講義をとおり、子供のうちにしか感じる事のできない感動を、大人から与えてあげられないだろうか。	8件	計画に反映しています。子どもが主体的に学び、考え、行動する力を育むため、区内の産業関係者や文化・芸術・スポーツなどの分野で活躍している区民による児童・生徒への指導の機会を充実します。
72	世田谷区の良さをアピールし、世田谷を愛していける子供達又、地域を大切にす住民達の心を養うことが区としては大事だと思う。	7件	地域に開かれた学校づくりをすすめ、地域で子どもを育てるまちを目指します。
73	子供達が外でのびのびと遊べる場所の提供が必要ではないか。	6件	子どもの成長に応じ、プレーパークなどを整備し、子どもの個性を伸ばす体験や社会参加の機会を確保します。
74	幼児教育の充実をもっと図るべきである。	6件	計画に反映しています。就学前の幼児一人ひとりが生涯にわたる基礎を培えるよう、望ましい成育環境を整え教育内容の充実に努めます。また、幼稚園、保育園、小学校、家庭、地域などとの連携を推進します。
75	公教育への民間人の登用を積極的に行うべきである。	1件	他自治体での取り組みなどを参考に、今後検討してまいります。

安心して子どもを育てられる環境づくり

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
76	働きながら子育てができるよう、区立保育園の存続及び新設による子育て支援の充実をお願いしたい。また、保育サービスの質の充実を図るべきである。	12件	働きながら子育てができるよう、保育時間の延長や病後児保育など、多様な保育ニーズに対応するため、民間活力を導入し保育サービスの提供を図ります。また、保育サービスの質の向上を図るため、評価の仕組みや指導検査体制を強化します。
77	少子化対策に力を入れてほしい。	10件	子育てへの不安の解消や小児救急医療の推進をはじめ、家庭で、ゆとりをもって子育てができる環境整備を進めるとともに、保育サービスの充実などにより家庭と仕事の両立ができる環境を整えるなど、安心して子育てができる取り組みを進めます。
78	子どもと共に、イベントづくりに参加するなど、地域の交流ができれば、高齢者、育児中の母親の孤独感がいやされ、地域で子育てをするきっかけづくりになるのではないかと。	5件	ご意見のとおり、子育て家庭と地域とのつながりが希薄になり、育児の正しい知識や情報を得る機会が減少しています。区としても、地区の子育て広場や保育園の活用などにより、地域との交流の機会や子育てに関する情報を提供していきます。
79	専業主婦を応援するプログラムの充実を図ってほしい。	3件	計画に反映しています。育児教室や保育園での体験保育や相談支援など在宅での子育てを支援し、育児不安や育児ストレスの軽減や解消を図ります。
80	児童虐待に関し、保健所での乳児検診でチェックするだけでなく、保健士や区の職員が家庭を回るべきではないかと。	1件	ご提案のとおり、虐待は早期発見と対応が非常に重要で、区では、虐待予防の観点から出産を予定している、または産後の家庭を対象に、訪問事業を行い、支援が必要な家庭を適切に見極め、助産師や地域の保健師、保育士などと連携のもと、総合的に対応していきます。

世田谷の文化・個性を活かしたまちづくり

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
81	身近な地域にある学校や体育館などをもっと活用し、生涯スポーツのさらなる振興を図ってほしい。	17件	計画に反映しています。地域のスポーツクラブや団体などとの連携、協力により、区民が身近な地域で気軽に生涯にわたってスポーツやレクリエーション活動に親しめる環境づくりを進めます。
82	歴史を大切に、世田谷住民として誇りをもてるようにしてほしい。例えば、世田谷の昔のいいところを次世代に伝える「世田谷区語り部」を育成するのはどうか。	8件	ご提案の趣旨を踏まえ、世田谷区の文化資源の活用などを図り、世田谷区の文化や歴史を大切に作る取り組みを検討します。
83	人材育成の一つの手段として、区の図書館の充実を行ってほしい。	7件	子どもの読書の機会の充実や読書意欲を高めるための環境を整備します。また、区民が生涯学習の場として利用しやすい図書館づくりを進めていきます。
84	生涯学習は、定年後の中高年対象と考えるので、子供達と共に学んでいく場とすべき。次代を担う人づくりにもつながるのではないかと。	5件	区内にある大学などの教育環境を活かし、子どもから高齢者まであらゆる世代の学び、自己実現の場や機会を充実させます。
85	世田谷区在住の文化人、知識人の協力や区民も参加し、世田谷の文化を日々体験でき実感できる取り組みを行ったらどうか。	1件	計画に反映しています。区内に多数居住している文化人をはじめ、多くの文化資源を活用し、優れた文化芸術に触れ、体験し、交流する場の充実に努めます。

協働のまちづくり

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
86	限られた区民ではなく、区民ひとりひとりが、知恵や力をだせる環境づくり（区民として意見を述べる場、そして協働のために参加できる場の提供）が大切ではないかと。	22件	区政に関する情報の提供を充実させ、区民、事業者等と情報や課題の共有化を図るとともに、計画策定等の区政運営の各段階での区民参画の仕組みを強化していきます。
87	世代交代と新しい住人の増加により隣人間のふれあいが、希薄になって来ている。ぜひ「町会・自治会の再生」をはかり、再構築をし、活用し	20件	こうした活動主体が、地域の課題を解決するための担い手として、さらに幅広く活躍できるまちを目指して、相互に連携し、活動しやすい環

	てほしい。また、NPOも活用してほしい。		境整備を進めることが求められています。今後、各団体と協働し地域づくりを進めてきます。
88	区の広報やインターネットなどを積極活用し、区の方針や財政情報などについて、区民への情報公開に努め、透明性を高めてほしい。	10件	ご提案を踏まえ、区の広報誌やホームページをよりわかりやすく、使いやすくし、区や区民のさまざまな取り組みについての情報を効果的に提供していきます。
89	計画段階や事業を実施する前の段階で区民に責任説明を果たし、区民の疑問に答え、意見をもっとくみ上げるべきだ。	8件	ご提案を踏まえ、計画等について、パブリックコメントなどの仕組みを活用し、計画段階から事業執行、評価に至るまで広く区民意見を反映できるよう取り組みます。

第5章 重点的取り組み - リーディングプロジェクト - (81件)

全般

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
90	ある程度の方向性をもって将来に向けて動くことは重要であり、効率もよい。区民の意見を求め、取りまとめる意味でもこうしたプロジェクト推進は必要である。区民の参加を得て、リーディングプロジェクトを活発化させることを望む。	21件	「重点的取り組み - リーディングプロジェクト - 」は、区民と行政が幅広く知恵と力を合わせて推進していくものであり、区としても、達成度や区民の参加度などを把握して、区民に公表してまいります。
91	この10年間の中で、何をどのように具体化していくのか。	8件	各プロジェクトの具体的な取り組みは、実施計画の中で位置付けています。これらの取り組みには、成果指標を設定しており、これら成果指標の推移と達成状況を把握し、「重点的取り組み - リーディングプロジェクト - 」を推進していきます。
92	防災や「犯罪の発生を抑制する」プロジェクトも必要ではないか。	5件	ご意見のとおり防災や防犯は重要な取り組みであり、緊急的に解決すべき課題と考え、実施計画によりこの3年間で取り組みを進めます。

身近で便利 交流促進プロジェクト

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
93	歩道を広くしたりちょっとしたベンチの設置など、隣り近所とのコミュニティの場を設置してほしい。	3件	ご意見のとおりと考え、プロジェクトを具体化する際の取り組みとして実施します。
94	歩きやすく安全な道路や利用しやすい交通機関の整備は、早急に求められる世田谷区のプロジェクトだと思う。	2件	ご意見のとおりと考え、身近で利用しやすい安全な道路・交通環境の整備を進め、まちの利便性を向上していきます。

次代を担う世田谷っ子プロジェクト

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
95	未来を支える子どもたちのためにも、たいへん大切なリーディングプロジェクトだと思う。	7件	世界にはばたく世田谷っ子が育つまちを目指しています。

いつまでも生きがいを 生涯現役プロジェクト

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
96	多くの高齢者が外に出て、多くの人、多くの世代と交流することを通して、高齢者の力を活かしてほしい。	11件	ご提案を踏まえ、地域での自主的な防犯活動、子育てや教育の場への参加など、さまざまな社会参加の場の充実や活動の支援を進め、高齢者の知恵や経験を地域の中で活かせるまちを実現します。
97	若者の街よりも、熟年・老人の街をアピールできる街づくりがあっても良い。	5件	ご提案のとおり、「生涯現役プロジェクト」は高齢者をはじめ、誰もが自らの知識や経験を活かし、地域の一員として活躍できる生涯現役社会の実現を目指し、取り組んでいくものです。
98	障害や疾病があっても無くても誰もが生きがいを持って、現役と感じられる施策づくりに取り組んでほしい。	4件	ご提案を踏まえ、生きがいを持ち、生涯を現役で過ごすために、地域での活躍を支える環境の整備に取り組んでいきます。

区民による良好な環境創出プロジェクト

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
99	良好な環境創出にはまず日々減少している区内の緑・農地を守ることである。	7件	区民・事業者が中心となって、水と緑、土と農に親しめる自然的環境を守り育てる取り組みを強化します。さらに、省エネルギーやごみの減量など環境に配慮した暮らしの実践に取り組みます。

世田谷の魅力倍増プロジェクト

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
100	世田谷＝（高級）住宅街というのは、全国的にも認知されている。このイメージをこわす事なく、より快適な街づくりを心がけて頂きたい。	8件	ご意見の趣旨を踏まえ、人びとが憩い集う核づくりを推進するとともに、まちの景観の統一的な整備やアクセス改善などの取り組みを進め、世田谷ブランドの魅力の向上に取り組みます。

第6章 計画の推進に向けて（93件）

自治体運営の自律の推進

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
101	世田谷区は人口 80 万人と地方都市以上の人口であるのに、市ほどの自治権がない。今後、どのように自治権を確立していこうと考えているのか。	5 件	ご意見のとおりと考え、地方分権の趣旨に即した新たな都区財政調整制度のあり方等について調査・研究を進め、区独自の見直し案を構築するとともに、その実現に向けて、関係機関との協議・連携を進めていきます。
102	道を挟んで隣接している他区市と連携・協力して道路づくりをする、公共施設を共有するなど、近隣市と連携を強化することはできないのか。	4 件	計画に反映しています。広域的な観点から生活基盤の整備や区民の利便性の向上を図るため、近隣自治体との共同・協力事業を推進します。

新たな時代にふさわしい地域行政の推進

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
103	出張所の廃止や簡素化が予定されているが、人員削減による機械化は高齢者や障害者にとって不便である。出張所は地域に最も身近な行政であり、地域コミュニティの最前線基地として強化すべきではないか。	9 件	より機能的、効果的にサービス提供をするという視点から、出張所・総合支所・本庁の執行体制の簡素化を図りながら、出張所における街づくり機能を強化していきます。

区民の目線に立った行政経営の確立

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
104	区民の意見を聞く耳を持つ、という姿勢は評価できるが、聞いた意見を整理し、柔軟に対応、実行してほしい。	33 件	事業の目的や達成度など、区政に関する情報を区民に積極的に提供するとともに、区民意見や区民の満足度を施策の見直しに役立てる行政評価の仕組みを充実させ、区民の目線に立った取り組みを進めます。
105	計画の趣旨が徹底され、実現されるように、区がリーダーシップを発揮すべきである。そのためには、役所の各部署で連携を図る必要がある。	16 件	ご意見のとおり、今回の基本計画は課題に対応した横断的な取り組みが中心となっており、各部署で十分な連携が必要です。職員の意識改革に努め、少数精鋭で問題を解決できる柔軟で機動的な執行体制の整備を図りながら、各部署が

			連携して計画を実行していきます。
106	今できることは何かを考え、優先順位を決めて無駄な事業のリストアップをすべき。	3件	区として、平成15年度に「外部評価委員会」を立ち上げ、目的が重複している事業等についてご指摘をいただき、区として見直しを図ってきましたが、今後とも行政経営改革計画により行政評価に取り組んでいきます。
107	職員の意識改革に先ず取り組み、自治体行革ランク調査で全国1位を目指し、「評価制度」で区民満足度を測定してほしい。	2件	職員の意識改革に取り組むとともに、区民満足度調査を実施し、行政評価の結果を区政の改革に役立てられるよう、行政経営の仕組みを、区民の参加を得ながら確立していきます。
108	良い提案や計画が暗礁に乗り上げることのないよう財政的な基盤を固めることが重要である。	2件	安定した財政基盤の確立と計画的な財政運営を進めます。また、実施計画では、事業費を算出し、財政計画との整合を図っています。
109	世田谷美術館やパブリックシアターなど公共施設利用の料金を見直してほしい。	2件	区の施設の利用料にあたっては、受益と負担の均衡の視点から、利用料の見直しを総合的に検討していきます。
110	職員定数削減の目標値が低いのではないか。	2件	区では、平成9年から8年間で748名の職員数削減を行ってきましたが、今後とも、現在のペースを緩めることなく、中長期的な視点から行政が担う役割を見定め、適切な規模の組織・人員体制の構築に向け、計画的に定数削減を進めます。

資源の有効活用による区民サービスの質の向上

No.	意見・提案の概要	件数	考え方
111	公共施設を借りたいと思っても、なかなか借りられない。空いている公共施設をもっと開放し、住民活動に活かしてほしい。	15件	区の有する施設について、さらなる有効活用を図るため、公共施設整備方針に基づき、施設の多面的利用など、区民ニーズの実情に合わせた柔軟で効率的な利用を図ります。

その他、シンポジウム等に対する意見（45件）